

## 令和5年度事業報告

当財団の設立目的の「食品の生産・加工及び安全性等に関する研究・調査並びに食文化に関する教育及び普及啓発活動等を促進し、もって食品産業及び食文化の発展と食生活の向上・安定に資する」に留意しつつ令和5年度事業計画に基づき事業を推進しました。

主要事業別の進捗状況は以下のとおりです。

### I 研究助成事業について

#### 1 募 集

例年と同様に6月1日より7月10日までの募集期間を設定して当財団のホームページ(HP)のほか、全国の主要な大学等の研究機関に対する募集告知、学会や研究助成関係団体の情報誌・HPへの募集案内掲載依頼など積極的に広報活動を実施しました。

なお、申請希望者は当財団のHPから募集要領、申請書等必要書類を入手し、申請はオンライン申請方式で行いました。

#### 2 応募状況

本年度は、182件(前年149件)の応募がありました。

研究分野別では、食品の加工技術に関する研究22件、食品と健康に関する研究90件、香辛料食品に関する研究24件、食嗜好・食行動に関する研究24件、食品の安全性に関する研究22件でした。

#### 3 選考及び助成対象

近年の大幅な応募数の増が選考委員の過重負担になっていたこと。これを回避するため、平成23年度から、研究計画に無理はないか、先進性は高いかなどの観点から第一次審査を食品に関する研究機関(ハウス食品グループ本社(株)研究開発本部)に依頼しています。これは、本審査を担当する選考委員会の意見を取り入れて導入したのですが、各委員からは負担軽減に効果があったと高い評価を得ています。第一次審査によりおおよそ50%ずつを目処に推薦、非推薦グループに仕分けることを目的としたものです。その評価結果を選考委員に送付しました。

選考委員には、これとは別にすべての申請書類、事務局側で作成した集計表一覧等参考資料を送付しました。

9月18日(月)に開催された選考委員会研究助成分科会(出席委員7名全員)において研究計画、研究体制、予算執行計画、既存研究との関係等各般にわたり活発な意見交換と慎重な審査が行われ、21件(助成額6,812万円)の助成対象が選定されまし

た。これでこれまで 38 回の研究助成の累計件数は延べ 499 件、助成総額は 13 億 9 千万円を上回る実績となりました。

令和 5 年度の研究助成対象の研究テーマ、研究機関、研究代表者及び助成金額は別紙のとおりです。

#### 4 助成金の贈呈式の開催

10 月 15 日(土)、ホテルニューオータニにおいて、研究助成者に対し助成金の贈呈式を行いました。冒頭、浦上理事長から「浦上財団の研究助成は設立当初から地方、若手、女性研究者に重点を置く方針で選定してきました。今回も北は北海道大学、南は九州大学など全国より選定しました。皆様のご活躍を大いに期待しています」との挨拶に続き、伏木選考委員長より選考経過の説明と研究者への激励がありました。

## II 食品・食文化の振興、啓発及び協賛活動等について

### 1 「食」を大切にする食育キャンペーン事業への支援

青少年の食文化、食育に関する意識啓発の一環として『「食」は「人」に「良」いこと、元気のもと』のフレーズを掲載したパネルを設置し、食育活動に熱心な小学校などの公共施設 50 か所に週刊写真ニュースを提供する事業に対して引き続き助成を行いました。設置小学校等からは児童生徒たちの関心がとても高いこと、学校教育に有効であること等から、引き続き提供願いたいとの要望が寄せられています。

### 2 地域に根ざした食文化振興事業への支援

本年度も石川県、金沢市、商工会議所、青年会議所が実行委員会形式で一体となって推進する加賀野菜、季節の魚介類を取り入れた地域食文化の祭典「フードピア金沢 2024」が令和 6 年 2 月の 1 か月を期間として開催されました。これは 1985 年から継続されており地域の産物、旬の素材を利用した「食」をテーマにした先駆的な取り組みといえます。この事業に対し引き続き支援を行いました。

### 3 ラオス学校給食支援事業への支援(浦上ランチプロジェクト)

ラオスは経済面や教育環境面ではメコン 5 ヶ国の中でもとりわけ厳しい状況下にあります。これまで、このランチプロジェクトは、教育省をはじめ、現地 NPO、学校、村・父母など学区内地域ぐるみの支援が約束された小中学校(現在 3 校)で実施されています。これにより、今後の地域における就学率向上、体躯の向上、学力向上が期待されます。

令和 2 年度には、待望のポンサイ小学校の成功事例「成功への道しるべ(日本語版、

ラオス語版、英語版)」として作成し、駐日ラオス大使館、外務省アジア大洋州局、在ラオス日本国大使館、国際協力機構（JICA）に情報提供させていただいたほか、ラオス教育スポーツ省を通じてラオス全土の小学校へも配布しました。

令和5年度は支援先小学校3校（カンムアン県ノンファン小学校、ラオグアン小学校、コークコン小学校）と卒業はしましたがフォローアップの意味でポンサイ小学校に対し支援を実施しました。

引き続き一般社団法人 WORLDS LINK に委託し WORLDS LINK の指導活動費の確保、乾季における農業用水の確保、地域住民の農業技術習得プランの実施に力点を置いた事業費の配分を行いました。

このことが日本とラオスの相互理解の促進に寄与したとのことで、令和4年8月には、外務大臣表彰を授与されるまでとなりました。

#### 4 東日本大震災復興支援事業への支援

浦上財団は岩手、宮城、福島3県を対象に被災した農林漁業者、外食産業、食育等を対象に復興活動を行っている NPO 等を支援すべく平成24年度から事業を開始しました。公募開始に当たっては財団 HP に掲載するほか、うつくしま NPO ネットワーク等対象3県の NPO 等に対する支援組織いわゆる中間支援組織に協力を要請しました。この3組織には、選考委員会に於いて現地の実情等をご説明いただくほか助成対象となった NPO 等の活動への助言、経費管理等の指導をお願いしています。

令和5年10月の1ヶ月間を応募期間とし、11月27日に開催された選考委員会食文化分科会（出席委員5名全員）を開催し、応募件数17件の中から支援対象9件（支援額571万円）を決定しました。これまで12回の累計件数は92件、その支援金総額は、約6,358万円を上回る実績となりました。令和5年度の支援対象団体、団体代表者、支援活動及び支援金額は別紙のとおりです。

令和6年1月25日には仙台 JAL シティホテルにおいて贈呈式を行いました。

なお、これまで支援してきた NPO 等からは活動報告、収支報告が送られてきております。

#### 5 こども食堂支援助成事業への支援

子どもの貧困による栄養バランスの悪化や孤食による家庭・地域とのつながりの希薄化など、子どもの心と体の成長を妨げる様々な問題が深刻化しています。特にひとり親家庭支援に中軸を置いたこども食堂・フードパントリー・宅食等の活動に対し、NPO 法人全国こども食堂支援センター・むすびえに指定寄付を行うことにより、こども食堂への支援助成事業を行いました。

#### 6 令和6年能登半島地震支援

令和6年1月1日発生の能登半島地震に際し、浦上財団では、既に現地で被災者支援や復旧のための活動をしている「NPO キャンパー（飯田芳幸代表理事）」に対し災害支援活動費として50万円の支援を行いました。「NPO キャンパー」は石川県七尾市等の自治体からの支援要請を受け、1月5日より被災地において炊き出し等の支援を行っております。

### III 情報公開について

#### 1 財団 HP を活用した情報公開

当財団の概要、助成実績、事業報告、正味財産増減計算書等に関する情報公開をインターネット(財団 HP、公益法人協会の共同サイト等)により実施しております。

#### 2 研究結果の取りまとめ及び公表

過去年の助成のうち今年度中に研究者から提出された報告書は「浦上財団研究報告書(Vol.31)」としてとりまとめ、今年度内に公表する予定です。この報告書は、各地の大学等研究機関が設置する図書館、都道府県立中央図書館等に配付し、研究成果の広報に努めます。また財団 HP に研究報告書を掲載します。

#### 3 リーフレット、ニュースの発行

財団広報用リーフレット及び財団の諸活動をビジュアルに仕上げた「浦上財団ニュース」を引き続き作成し、財団の活動に理解を得られるよう関係各方面に配付し広報に努めています。

### IV 寄付金の受入れについて

呼びかけ先についてはハウス食品グループ本社(株)及び関連会社様などに限定してお願いをしております。

### V 法人運営について

#### 1 令和5年4月25日に令和4年度の監事監査を実施し、同年5月23日に令和5年度第1回理事会(通常理事会)を実施

開催日時 令和5年5月23日(火)

開催場所 東京都千代田区紀尾井町4-1 ガーデンコートクラブ

出席者

理事の総数 7人、定足数 4人

出席理事 7人

理事長(代表理事) 浦上聖子

会長(代表理事) 浦上節子

常務理事(業務執行理事) 大豆生田清志  
理 事 磯野計一、熊谷英彦、嶋口充輝、村上秀徳

監事 2人  
監 事 秋山豊正、高宮洋一

報告事項  
理事長等の職務執行状況報告の件

決議事項  
第1号議題 令和4年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの  
附属明細書並びに財産目録承認の件  
第2号議題 評議員候補者5名、理事候補者3名、監事候補者1名選任の件  
第3号議題 定時評議員会召集の決定の件

審議の結果、全議題が原案のとおり承認されました。

## 2 令和5年度定時評議員会を実施

開催日時 令和5年6月14日(水)

開催場所 東京都千代田区紀尾井町4-1 ガーデンコートクラブ

出席者

評議員の総数 9人、定足数 5人

出席評議員 9人

浦上博史、小瀬 昉、加藤久典、川崎浩太郎、間崎友子、馬場久萬男、堀口逸子、三  
木啓史、山本隆幸

出席理事 3人

理事長(代表理事) 浦上聖子

会 長(代表理事) 浦上節子

常務理事(業務執行理事) 大豆生田清志

出席監事 2人

監事 秋山豊正、高宮洋一

報告事項  
令和4年度事業報告の件

決議事項  
第1号議題 令和4年度貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの附属明細書並び  
に財産目録承認の件  
第2号議題 評議員5名、理事3名、監事1名選任の件

審議の結果、全議題が原案のとおり承認されました。

### 3 ハウス食品グループ本社株式会社第 77 期定時株主総会における議決権行使承認の件について（みなし決議）

令和 5 年 6 月 20 日付けをもってみなし決議に関する理事の同意書、監事の意見書の全数の回収が完了し、全員から賛同を得られましたので、同年 6 月 27 日に開催されたハウス食品グループ本社（株）株主総会において会社提案にいずれも賛成すること。また、株主提案にいずれも反対することに票を投じました。

### 4 代表理事、理事長及び業務執行理事、常務理事を選定の件（みなし決議）

令和 5 年 6 月 14 日に開催された定時評議員会において、浦上聖子理事が重任されましたので、浦上聖子理事を代表理事（定款第 25 条第 4 項）、理事長（定款第 26 条第 2 項）及び大豆生田清志理事を業務執行理事、常務理事（定款第 25 条第 4 項）選定の件について、令和 5 年 7 月 18 日付けをもってみなし決議に関する理事の同意書、監事の意見書の全数の回収が完了し、全員から賛同が得られましたので承認されました。

### 5 能登地震に伴い災害支援活動費として NPO キャンパーに 50 万円を支援することの承認の件について（みなし決議）

令和 6 年 1 月 18 日付けをもってみなし決議に関する理事の同意書、監事の意見書の全数の回収が完了し、全員から賛同を得られましたので承認されました。

### 6 事務局運営について

学術研究助成、震災復興支援の公募事務の IT 化を推進し、システムの高度化、事務の効率化及び事務局負担の軽減を図りました。

また、コロナ禍の中、テレワーク等を実施しました。